



代っ子通信

令和6年9月13日

<第26号>

校長 平塚智康

5年生 稲刈り体験 ～米一粒の大切さを知る～

9月10日（火）、5年生の稲刈りが行われました。5月上旬の田植えから約4か月、学校田のコシヒカリの稲穂はたわわに実をつけました。この日は、中代町営農組合の山口さんのご指導を受けながら、稲刈り体験をしました。とても暑い日でしたが、お米の収穫時期には適切なタイミングがあるので、涼しい日に改めてというわけにはいきません。5年生87人で、各クラス約15分ずつがんばって稲刈りをしました。一粒のお米を収穫することの苦勞を感じとったり、機械の便利さやすごさを改めて感じたりしました。子どもたちはとても貴重な体験活動を行うことができました。山口様はじめ中代町営農組合の皆様、ご協力・ご指導いただき、本当にありがとうございました。



5の1 〇〇 〇〇

わたしは稲刈りをしてみて、手作業でやるととても大変だなと思いました。わたしは、少ない面積だけやったけど、昔の人はその何倍何十倍の面積をすべて手作業でやったと思ったら、もっと大変なんだなと思いました。今、機械で稲刈りができてすごいと思います。

5の1 〇〇 〇〇

わたしは稲刈りをしてみて、少しは上手にできたと思いました。落ちたお米を拾ったりしました。お米の大切さが少しわかりました。最後に機械でかっているのを見て、すごく速いし、おもしろかったです。また、稲刈りをしたいなと思いました。

5の2 〇〇 〇〇

今日はいねかりをしました。服そうは、長そで・長ズボンでとても暑かったです。そしていねの束を一つ一つかまで刈り取るのがとても重労働でした。しかもケーブルテレビがさつえいして少しきんちょうしました。そして、いっぱい稲を刈って、最後にコンバインで刈るのを見せてもらいました。農家のみなさん、ありがとうございます。

5の2 〇〇 〇〇

ぼくは初めてのいねかり体験をしてとても楽しかったです。初めて自分で米を取るのに楽しかったです。コンバインではぼくたちがかった面積の7倍の面積を1分50秒でかれたのにおどろきました。大人になったら自分で田んぼをつくって米をかりたいと思いました。

5の3 〇〇 〇〇

営農組合のみなさん、なかなかできない体験をさせていただきありがとうございました。こんな暑い中、作業していると思うとすごいなと思いました。自分たちがすると、10分~15分かかるのに、コンバインでは、とてもはやくかれてすごいと思いました。

5の3 〇〇 〇〇

暑い中、わたしたちのために稲刈りのやり方とか教えてくださいありがとうございました。稲刈りは楽しかったです。稲刈りの大変さもいっぱいわかったから、これからお米を食べるときは、感謝して食べたいです。

加賀市小中学校 科学作品展

<優秀>	1年	〇〇	〇〇	「アイスのスプーンタケコプターであそぼう！」
<優良>	6年	〇〇	〇〇	「映像玩具の世界」(科学工作)
<佳良>	1年	〇〇	〇〇	「カレーの美味しさはなんだろう？」
	2年	〇〇	〇〇	「リトマスでしらべよう！いろいろなえき体」
	3年	〇〇	〇〇	「切り花を長持ちさせる方法」
	4年	〇〇	〇〇	「太陽光でカレーとナンは作れるのか？」
	4年	〇〇	〇〇	「ろ過実験をしてみよう！」
	4年	〇〇	〇〇	「エアリズムのふしぎ」
	5年	〇〇	〇〇	「もっと遠くへ！飛べ！ペットボトルロケット！」
	5年	〇〇	〇〇	「太陽光でどこまで温まるのかな？」
	6年	〇〇	〇〇	「肺の病気を見てみよう」
	6年	〇〇	〇〇	「若狭湾のサワラを取り巻く環境」
	6年	〇〇	〇〇	「最強じわをやっつけろ！」
	6年	〇〇	〇〇	「ソーラーラジオ」(科学工作)

プログラミング工作の部

<優良>	2年	〇〇	〇〇	「どうぶつでん車」
	4年	〇〇	〇〇	「まほうのステッキ」
	5年	〇〇	〇〇	「不快指数が分かる！百葉箱」
	6年	〇〇	〇〇	「家の中のおつかいロボ」



どの出品作も、写真・図・グラフなどを使いながら、わかりやすく、ねばり強くまとめられた力作ばかりでした。科学工作やプログラミング工作にもたくさんの工夫が見られました。本当によくがんばりましたね。すばらしい！

加賀市小中学校科学作品展は、9月14日(土)・15日(日)の両日、加賀市市民会館(市役所前)3階ホールで、午前10時~午後3時まで開催されています。(上記の入賞作品も展示されています。市役所前広場では十万石祭りが開催されていますので駐車場にご留意ください。)